



在エジプト日本国大使館広報文化センター主催

河江肖剩先生講演会

「エジプト研究最前線 – ギザのピラミッド」

世界有数の古代建造物であるギザの三大ピラミッドの研究は、近年、様々な方向から進められています。紅海沿岸から発見されたパピルス、巨大で区画整理された都市の発掘、労働者の残した落書き、最新技術による3D計測。この講演では、基礎的な話から最新調査に至るまで、包括的にピラミッド研究について紹介しながら、この大建造プロジェクトの全貌を明らかにしてゆきます。

＜日時＞ 2017年3月8日（水）18：00 開場

18:00～18:30 レセプション

18:30～19:45 講演（日本語）

19:45～20:00 質疑応答

＜場所＞在エジプト日本国大使館 多目的ホール

＜入場無料/要事前登録＞

席数の制限もございますので、事前に当館：梅原（mayu.umehara@ca.mofa.go.jp）までメールにて参加者氏名をご連絡ください。



＜河江肖剩先生プロフィール＞

エジプト考古学者。名古屋大学 CHT 共同研究員。米ナショナル ジオグラフィック協会エクスプローラー。ピラミッド研究の第一人者マーク・レーナー博士のチームに加わり、ギザでの発掘調査に10年以上にわたって従事。現在、人文科学と自然科学の融合を目指した新しいアプローチによって、メンフィス地区のピラミッドの3D計測調査を推進中。TBS 世界ふしぎ発見、NHK スペシャルなどのテレビ番組に出演し、エジプト文明について広めている。

YUKIKAZUMORI KAWAIE